豊田工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	空間デザイン

科目基礎情報

科目番号	52103	科目区分	専門 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	4
教科書/教材	川北健雄ほか：初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ、彰国社 ISBN： 978-4395241217		
担当教員	竹下 純治,前田 博子		

到達目標

(ア)エスキースによる作品の制作プロセスが十分になされている。
(イ)発想、コンセプトが大変豊かである。
(ウ)素材の持ち味を十分に捉え、特長を生かしている。
(エ)プレゼンテーション（作品発表）の内容、表現が適切であり、作品の意図を十分に伝達することができ、また、質疑に対し適切な説明ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	エスキースによる作品の制作プロセスが十分になされている。	エスキースによる作品の制作プロセスがなされている。	エスキースによる作品の制作プロセスがなされていない。
評価項目(イ)	発想、コンセプトが大変豊かである。	発想、コンセプトが豊かである。	発想、コンセプトが豊かでない。
評価項目(ウ)	素材の持ち味を十分に捉え、特長を十分に生かしている。	素材の持ち味を捉え、特長を生かしている。	素材の持ち味を捉えられておらず、特長を生かしていない。
評価項目(エ)	プレゼンテーション（作品発表）によって、作品の意図を十分に伝達することができ、また、質疑に対し適切な説明ができる。	プレゼンテーション（作品発表）によって、作品の意図を伝達することができ、また、質疑に対し説明ができる。	プレゼンテーション（作品発表）によって、作品の意図を十分に伝達することができておらず、また、質疑に対し適切な説明ができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 B2 建築分野の必要な基礎的知識や技術を修得する。
学習・教育到達度目標 C2 図面判読能力および，設計意図・内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力（記述・作図技術や模型製作技術），討議能力を修得する。
本校教育目標 ② 基礎学力
本校教育目標 ③ 問題解決能力

教育方法等

概要	建築に密接に関連する、インテリアデザインやインダストリアルデザインに関連した課題により、造形力を養うことを目的とする。
授業の進め方・方法	前半と後半で2課題とし、前半はダンボールによる座れる立体を作成する。後半は、指定された素材を用いてアトリウム空間に展示する造形作品を作成する。両課題とも1／1スケールのプロトタイプを作ることにより、実物を自らの手で作り出す喜びを学ぶと共に、与えられた条件のもつ素材の特性を十分に観察したうえで、発想力豊かな作品を制作する。
注意点	

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

必履修

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	第１課題ガイダンス：課題説明（課題の意図・条件、設計課題の中での位置づけ、提出物、スケジュール）	上記（ア）（イ）（ウ）
		2週	エスキースおよびチェック、スタディ模型作成、エスキース提出	上記（ア）（イ）（ウ）
		3週	エスキースおよびチェック、スタディ模型作成、エスキース提出	上記（ア）（イ）（ウ）
		4週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		5週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		6週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		7週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		8週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑	上記（エ）
	2ndQ	9週	第２課題ガイダンス：課題説明（課題の意図・条件、設計課題の中での位置づけ、提出物、スケジュール）	上記（ア）（イ）（ウ）
		10週	エスキースおよびチェック、スタディ模型作成、エスキース提出	上記（ア）（イ）（ウ）
		11週	エスキースおよびチェック、スタディ模型作成、エスキース提出	上記（ア）（イ）（ウ）
		12週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		13週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		14週	図面（プレゼンテーション）・作品作成、課題提出	上記（イ）（ウ）（エ）
		15週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑	上記（エ）
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	4	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	4	

評価割合

	課題	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100